

図書館における収集内容

ď

学内の連携(FURE)

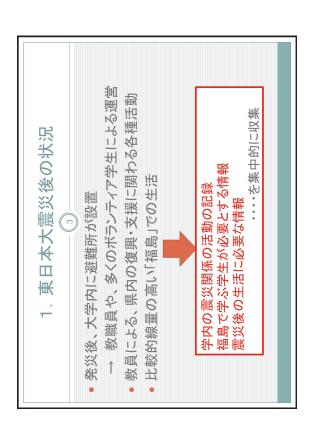
რ

課題

4.

東日本大震災後の状況

報告内容



2. 図書館における収集内容

- 収集内容① 市販されて
- ① 市販されている震災・原発・ボランティア等に関する 答判
- ②学内の活動の記録

3 寄贈資料

収集点数 : 2,100点以上(震災関連資料コーナー)その他、チラシ類、講演要旨、ポスター、事務文書など

①市販されている資料

2

教職員・学生が行った東日本大震災に関わる様々な活

動の記録を収集

• 収集方法

2学内の活動の記録

• 授業でとりあげられるテーマ/関心の高い分野

震災、原発、放射能、復興支援、被災者支援、ボランティア、再生可能エネルギー、災害 etc.

• 福島で生活していくなかで必要と思われる情報

震災後、2,000点近〈を購入

現状としては、あまり収集が進んでいない

各種会議や文書などによる依頼 ホームページでの寄贈依頼(後述)

②学内の活動の記録:リポジトリ公開

• 学内で生成されている震災に関わる活動記録の公開

震災関係の資料を 幅広く収集・公開 できるように、 既存のリポジトリの 運用指針を改正

930 福島大学火港漫劃研究所[0]

940 学籍(第(周)道) [1]

学科の方へ ・ 別会を記載を ・ 対所を対象を

③その他寄贈資料

• 図書館のホームページに寄贈のお願い(学内外向け)

定例記者会見

震災記録を「図書館に

寄贈資料約100点(このサイトを開設する以前から寄贈はあり)

指数が平板機能が AVY PALACINO - フクロクリベの 酸炭質酸ಀ素酶 180円 1 - V である 酸・180円 1 - V である 酸・180円 1 - V である しゅうじょく ない 1 - V を 扱いに関する 原料を指めた 酸・190円 1 - V を 放いに関する 原料を指めた 酸・190円 1

37

(開架閱覧室1F) 震災関連資料コーナ



関心が高く、他の蔵書に比べ利用頻度が高い

•

• 大学関係者だけではなく、一般の市民にも公開



開贈 4



- 学内で生成されるコンテンツの収集/ノウハウの確立
- 収集したコンテンツの整理・保存・発信方法
- 図書館で扱いにくい収集物の保存・管理

•

- 人員・予算・場所の確保
- 県内他図書館との活動情報共有活性化 •

学内の連携 (FURE . თ

FUREうつくしまふくしま未来支援センター

- 福島県の復旧・復興を支援することを目的に設立
 - 復興に向けた調査研究に関する資料を収集 避難所や仮設住宅等の写真、航空写真、各種報告書、 復興計画・除染計画、など
- 図書館との連携
- ・震災アーカイブWG コーディネーター(1名)・教員(1名)と、図書館の職員(4名)で NGを立ち上げ、資料収集・管理・活用の方針や相互の役割分担 などについて検討中。〈月1回〉 ・図書館での震災関連資料購入費の支援